



伊方発電所における新型コロナウイルス感染防止対策

- 当社は、電力の安定供給に万全を期すために、4月10日に特別非常体制を発令するとともに、本店に「新型コロナウイルス感染症対策総本部」、また伊方発電所に「同対策本部」を設置し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めております。
- その後、緊急事態宣言は解除されましたが、発電所においては警戒レベルを緩めることなく、危機感を持って対策に努めております。

〔現状(令和2年8月12日時点)の感染防止対策〕

【発電所員への対策】

- ・ 毎日の健康状態確認(発熱者等の体調不良者は出勤させない)
- ・ 執務室の換気(密閉)、座席配置の変更(密集)、マスク着用(密接)等による「3密」の回避
- ・ 通勤バス、執務室、共用設備等の消毒
- ・ 四国外への出張は原則禁止
- ・ やむを得ず出張する場合は、過去2週間の体調に問題がないことを確認のうえ、不特定多数の方との接触を避ける等適切な感染予防対策をとり、最小人数とする。また、帰着後2週間、不特定多数との接触、密閉した場所での会議等への出席、至近距離での会話をしない

【運転員への対策】

- ・ 運転員用通勤バスに運転員以外乗車禁止、1日2回の消毒
- ・ 中央制御室の入室制限(入室時は手指の消毒、マスク着用)
- ・ 運転員が共用で使用する機器(OA機器、電話など)を1日2回消毒

【構内関係会社・協力会社への対策】

- ＜新規入構者＞ ・ 入構前2週間にわたって毎日の健康状態確認および「3密」への立ち入りの有無を確認し、「3密」への立ち入りが確認された場合は、2週間発電所へ入構させない。
- ＜既入構者＞ ・ 「3密」への立ち入りを避ける
- ・ 毎日の健康状態確認(発熱者等の体調不良者は出勤させない)
- ・ 四国外への移動を自粛する。やむを得ず、四国外へ移動する場合は不特定多数の方との接触を避ける等、感染防止に細心の注意を払う



伊方発電所における新型コロナウイルス感染防止対策

伊方3号機において運転員等が新型コロナウイルスに感染した場合の対応

○伊方発電所では、保安規定に以下の内容を定めております。

- ✓ 表1に定める人数の運転員を確保する。
- ✓ 表2に定める人数の緊急時対応要員を確保する。
- ✓ 運転員及び緊急時対応要員に欠員が生じた場合、速やかに補充を行う。
- ✓ 運転員及び緊急時対応要員の補充の見込みが立たない場合、原子炉の運転中は、原子炉の安全を確保しつつ、速やかに原子炉停止の措置を実施する。原子炉の停止中は、原子炉の停止状態を維持し、原子炉の安全を確保する。

表1：1チームあたりの運転員の人数

モード1, 2, 3および4（蒸気発生器が熱除去のために使用されている期間）の場合	10名以上 （当直長を含む）
モード4（余熱除去系が熱除去のために使用されている期間）、5および6の場合	8名以上 （当直長を含む）
使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	5名以上 （当直長を含む）

表2：緊急時対応要員の人数

モード1, 2, 3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	22名以上
---	-------

- ✓ 病原性の高い新型インフルエンザや同様に危険性のある新感染症等が発生し、緊急時対応要員に欠員が生じた場合は、緊急時対応要員の補充を行うとともに、そのような事態に備えた緊急時対応要員の体制に係る管理を行う。

○伊方発電所では、運転員が感染した場合は、感染拡大を防止するため、当該運転員が所属するチーム全員を一時休務とし、残りのチームで交代勤務を実施することとしております。

○運転員や緊急時対応要員に欠員が生じた場合、保安規定に基づき、力量のあるものから補充することとしますが、運転員が表1に定める人数を確保できない場合、または緊急時対応要員が表2に定める人数を確保できない場合、原子炉を停止いたします。



伊方発電所における新型コロナウイルス感染防止対策

(参考)

原子炉の各運転モードにおける運転状態等については、下表のとおりです。

表. 原子炉の運転モード

モード	原子炉の運転状態	原子炉容器スタッドボルトの状態
1	出力運転（出力領域中性子束指示値5%超）	全ボルト締付
2（停止時）	出力運転（出力領域中性子束指示値5%以下） ～ 制御グループバンク全挿入※ ¹ による原子炉停止	全ボルト締付
2（起動時）	臨界操作のための制御グループバンク引抜操作開始 ～ 出力運転（出力領域中性子束指示値5%以下）	全ボルト締付
3	1次冷却材温度177℃以上	全ボルト締付
4	1次冷却材温度93℃超177℃未満	全ボルト締付
5	1次冷却材温度93℃以下	全ボルト締付
6※ ²		1本以上が緩められている

※1：挿入不能な制御棒を除く。

※2：すべての燃料が原子炉格納容器の外にある場合（モード外）を除く。